

家庭読書の定着と子どもが育つ家庭環境づくりを

～教育委員との意見交換会から～



社会教育委員会では、家庭教育支援の諮問「親子ふれあいの増進に向けて家庭内に望ましい読書環境を定着させるための手だて」について検討を進めてきました。

昨年12月には、「教育委員との意見交換会」を開催し、当委員会の実践について教育委員の皆さんに報告した後に、このテーマの課題や今後について共に考え合いました。

■出席者

- 【教育委員】・依田教育委員長・荒木職務代理・小松委員・久保田委員
- 【社会教育委員】・矢澤会長（学識経験者）・宮坂職務代理（スポーツ推進委員会副会長）・曾根原委員（下諏訪南小学校校長）・竹中委員（博物館協議会会長）・本山委員（青少年健全育成協議会副会長）・前田委員（図書館協議会会長）・久保田委員（学識経験者）・古屋委員（公民館運営審議会会長）
- 【事務局】・小沢教育長・矢島教育こども課長・浅井生涯学習係長・上野社会教育指導員・伊藤生涯学習係

■社会教育委員会からの基調提案

平成24年5月に教育長より諮問を受けた当委員会では、親子ふれあい増進の手だてとして「家庭読書の推進」を主な切り口として検討を進めてきました。

その中で「家庭読書の日」を中心とした読書環境づくりは一定の成果をあげており、特に保育園児や小学校低学年の家庭では実施率が80%を超えるなど取り組みは着実に定着してきていることが分かりました。

しかし、現在の子どもの家庭生活を見ると、「ゲーム」や「インターネット」といった「電子メディア」に大きく影響を受けていると考えられます。メディアへの長時間の接触は、読書の時間だけでなく「外遊び」や「家族の団らん」など子どもの成長にとってかけがえのない貴重な時間まで奪ってしまっています。最近では、文化センターや町図書館など町の至る所で携帯ゲームに没頭する子どもたちの姿も多く見られるようになりました。

そこで委員会では「家庭読書」に加え子どもたちの家庭生活の様子とりわけ「電子メディアの問題」にも注目し、テーマの枠を広げて検討を行ってきました。現在、委員会で挙げられている課題として以下のものがあります。



【家庭読書】

- ☆読書嫌い、家庭読書に取り組めない家庭への働きかけをどのようにしていくか。
- ☆子どもの成長に合わせた家庭読書の意味や位置づけをどのように考えていくか。

【電子メディアの問題】

- ☆子どもたちのメディアに費やされている時間や関わり方の実態を調べる。
- ☆町をあげて今後どのような取組をしていけばいいか。

※「家庭読書」と「電子メディアの問題」の2つのテーマについて上記課題を踏まえた上で、意見交換を行いたいと思います。

■意見交換会まとめ ～今後に向けて～

家庭読書について



- 親子共に忙しい。きっかけが大事だ。いっしょに親子でやることの良さをもっと訴えていく。
- 質の良い本と出会うことや読書習慣づくりが大事だ。
- テレビを消すことも家庭環境づくりとして大事なことだ。
- ファーストブックプレゼントや、ファーストブックプレゼントから保育園入園の3才までをつなぐ企画としてセカンドブックプレゼントはよい企画だ。町図書館で行われるので、図書館利用のきっかけにもなる。

- 読書は、人間形成にも学力向上にも関係していることなどもPRしたらどうか。家庭読書を通して変わってきた子どもや親の様子をおたよりなどで知らせたい。
- どこでも本に親しめるように、病院や施設に本のコーナーを作ったらどうか。各施設にお願いしたらどうか。
- 学校では先生方が、意識をもって取り組んでいる。学校から発信していけばよい。子どもが読めば、大人にも波及していく。12月は9割が取り組んだ。繰り返しやることで、読書が好きになる。子どもはいつか、大人になる。これが将来の下諏訪町の読書環境になっていくだろう。

電子メディアについて

- メディアは本来家庭の問題である。家庭で取り組めるように、学校や地域がサポートしていくような形が望ましい。
- 「ノーメディアデー」としてメディアを排除するのは現実的に難しい。家庭の実情に合わせて「メディアコントロールデー」として、時間制限を設ける取り組みから始めたらどうか。
- 既に学校や専門機関では危機感を持っている。家庭読書と同様に町の至る所からどんどん情報発信していき、町全体の意識を高めていくことが大切である。
- 学校の授業は情報提供する場としては最適。授業参観等を利用し子どもと親と一緒に学び、メディアと今後どのように付き合っていくかを考える機会が作れるといい。
- 親に対しては子どもが生まれる前から啓発していきたい。子育てに入る前の父親や母親に注意を促していきたい。それには医療機関の協力が必要だ。
- 運動する子はハマらない。読書、遊びなどメディア以外の物に目を向けさせることが大事だ。



教育長総括

本日は、主に2つのテーマについて意見交換をしていただいた。両テーマとも「宣伝・広報」の大切さが共通して挙げられた。「電子メディアの問題」については大きな課題であるが、「家庭読書」も初めからうまく浸透していった訳ではない。現状を打破するためにどうしたらいいかをその都度考え様々な工夫を重ねて、ここまで向上することができた。協議の中で「メディアコントロールデーを」といった提案もあったが、町民一人一人に意識を高く持ってもらうためにも、一方的に押しつけるようなやり方ではなく、各家庭の実情に合わせて主体的に取り組んでもらえるようなしくみ作りが大切になってくると感じている。ひとつひとつの貴重な提案を形にできるように努めていきたい。